



医療現場での通訳について実践的に学ぶ 「医療通訳セミナー」

【概要】

開催日時:

平成30年11月4日(日)

「医療通訳セミナー初級編」

10:00~13:00

「医療通訳セミナー中上級編」

14:30~17:30

開催場所:

札幌国際プラザ交流サロン

主催:

(公財)札幌国際プラザ

共催:

札幌市保健所

後援:

一般社団法人札幌市医師会

公益社団法人北海道看護協会

社会福祉法人札幌市社会福祉協議会

札幌国際プラザでは、日本語を十分に使用・理解できない外国人住民や観光客が、安心して医療を受けることができるよう、そのサポートをする人材を育成する取り組みを続けています。

11月4日(日)、押味貴之氏(国際医療福祉大学医学部 医学教育統括センター 准教授、日本医学英語教育学会理事)を講師にお招きし、医療通訳について実践的に学ぶセミナーを開催しました。

午前中の「初級編」では、一般の通訳と医療通訳の違いや、医療通訳の認証制度・人材育成など、日本の医療通訳を取り巻く現状について分かりやすく解説。

医療通訳には語学力や医療知識の他に、人権尊重、中立性、誠実さ、信頼性、礼儀とマナーなどの高い行動規範も期待されることを学びました。

午後の「中上級編」では、現役の医療通訳者や、英語の上級者が参加。参加者は医者役と通訳役を交代で担いながら、4名の外国人模擬患者の協力を得て、診察室での実践的な通訳練習を行いました。今回の症例は「Tremor(振せん=身体のふるえ)」。参加者は、講師のアドバイスを受けながら、真剣に通訳に取り組んでいました。

延べ61名の参加者からは「楽しく学ぶことができた。まだまだ力不足なので、これからも勉強を続けていきたい」等の声が多く聞かれました。



講師の押味貴之先生



模擬患者との通訳練習

(公財)札幌国際プラザ 多文化交流部
〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3階
TEL 011-211-2105 FAX 011-232-3833
多文化交流部ホームページ http://plaza-sapporo.or.jp/citizen_j/